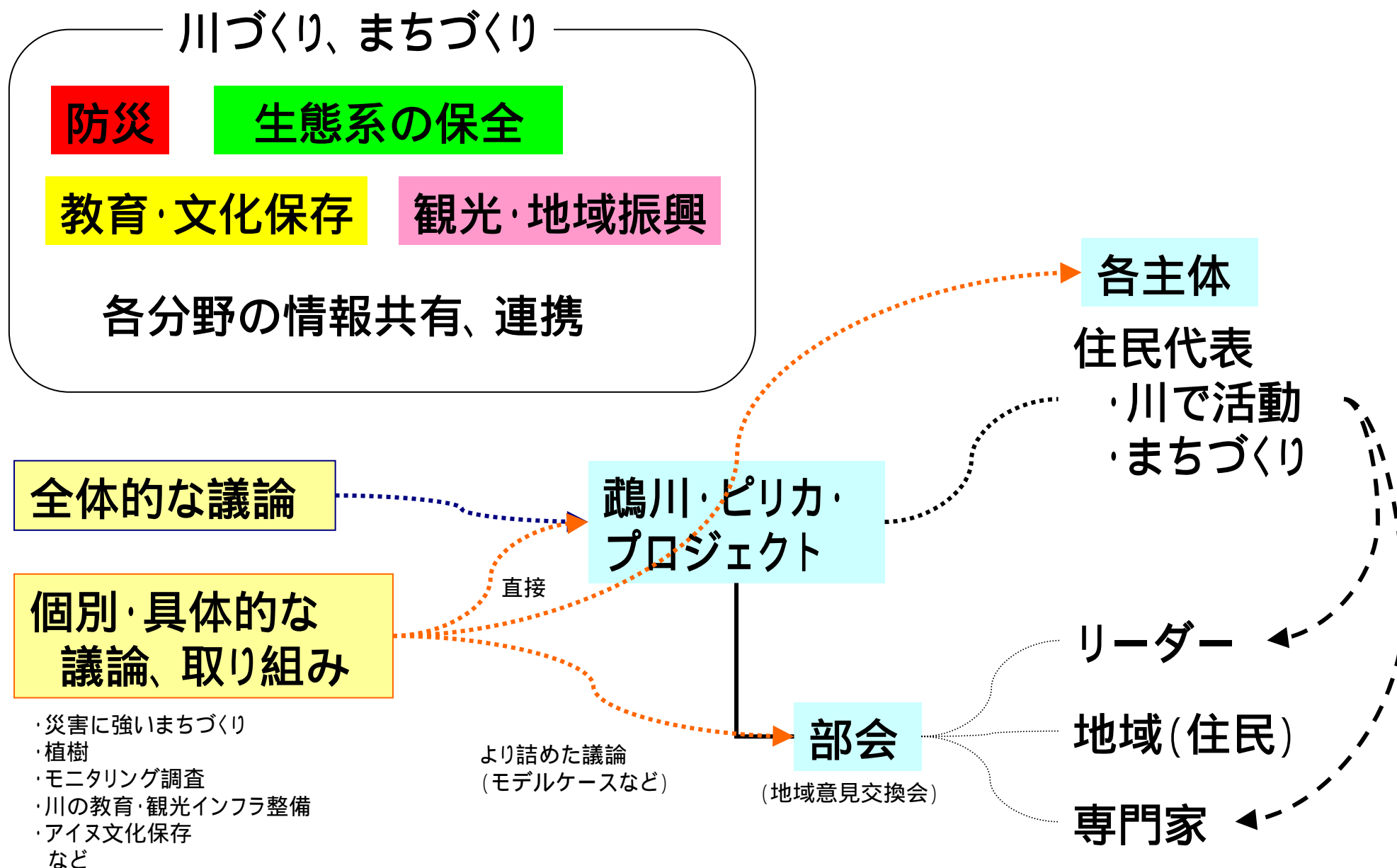


第7回 鵜川・ピリカ・プロジェクト

～ 美しい川をめざして～

平成20年3月25日(火)

鵜川・ピリカ・プロジェクトの全体イメージ



鵜川・ピリカ・プロジェクトの流れ

H19

第1回 鵜川・ピリカ・プロジェクトの設立

第2回 「鵜川の情報」、「鵜川への思い」についての意見交換

第3回 現地見学会：河口から源流まで

情報の共有

第4回 藤間教授による講演、「防災」についての意見交換

第5回 「防災」についての意見交換

防災の目標

H20

第6～7回 専門家による講演：講演を受けての「生態系の保存」「教育・文化保存」「観光・地域振興」の目標設定に向けての意見交換

第 回

⋮

教育・文化保存の目標

生態系の保全の目標

観光・地域振興の目標

鵜川・ピリカ・プロジェクト『美しい川の宣言』

「防災」、「生態系の保全」、「教育・文化保存」、「観光・地域振興」の観点から未来へ引き継ぐ鵜川の姿を宣言します。

第 回

⋮

- ・各主体が協働の川づくりを実施
- ・具体的取組のフォロー（例：防災 - 災害に強いまちづくりへの支援（H19.12～））

グループでの意見交換（30分程度）

鵜川・ピリカ・プロジェクトとしての、川づくりの考え方の方向性を意見交換します。

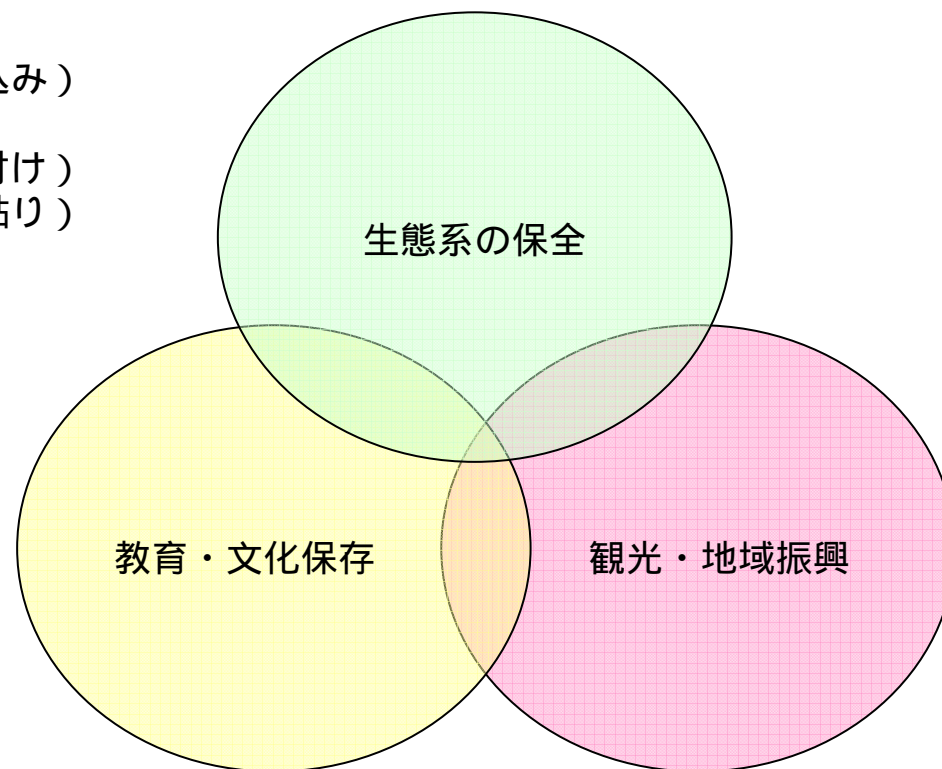
- ・「生態系の保全」「教育、文化保存」「観光・地域振興」の観点で
- ・これまでの鵜川・ピリカ・プロジェクトでの意見、本日の講義内容を踏まえたもの
- ・役割分担（鵜川・ピリカ・プロジェクト、行政、住民など）や具体的な行動を見据えたもの

（手順）

- 1．テーブルにこれまでの意見一覧を広げる
- 2．ラベルに記載し張り付け。（もしくは、直接書き込み）
- 3．内容を発表・意見交換
または、（発言して、事務局がラベル記載・張り付け）
（ラベルに記載し発表。事務局がラベル貼り）

全体でまとめ（10分程度）

各グループの意見交換内容を発表、
片山先生と宮本先生に講評をいただきます。



鵜川の川づくりに向けて

項 目	鵜川はこんなところ、こうしたい	未来へ望むこと(目標)案
「生態系」に関する意見	<p>魚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚の種類の多い川 ・サケ産卵(大量) ・占冠村、サクラマスでおもてなし ・ヤマメを放流し、サクラマスを増やす活動 ・シシャモが生息(産卵) ・シシャモが生息する川でありつづけるよう皆で力を合せる ・ドジョウが岸近くに生息 ・砂防ダムに魚道がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・シシャモ、サケ、サクラマス等の多様な種類の魚が生息できる河川環境を保全・改善 きれいな水質、魚が行き来できる連続性、放流等の人々の協力 ・サクラソウ、カタクリ等地域の植物が繁茂できる周辺環境を保全 ・シギ、チドリ、マガン等の渡り鳥の中継地である河口干潟と田んぼ等の周辺環境を一体的に保全
	<p>植物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源流、ミズバショウの群生 ・豊田地区、アサツキの群生地 ・河岸の崖にサクラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生田地区、サクラソウ、カタクリ ・海岸、海浜植物が減少 ・河口のムシトリナデシコ
	<p>鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁和地区、アオサギコロニー ・春日地区、オオワシ・オジロワシ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生田小付近、カワセミ ・ウトナイ湖のマガンが鵜川の田んぼで採餌
	<p>その他生物、場所に関すること等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生田地区、ニホンザリガニ ・ヤンマやイトトンボなど昆虫も豊富 ・貴重な自然(ニホンザリガニ、サクラソウ)を残したい ・一方で干潟消失、それに伴うアイヌ史跡消失 ・河川全体を見て皆で考える必要 ・自然保護は法律にとらわれない協力 ・河口干潟、海岸線の後退 	<ul style="list-style-type: none"> ・2.7haの人工干潟を育てる ・アオサギ、カワセミ等が生息する水辺環境を保全 ・ニホンザリガニ、ヘイケボタル、ドジョウ等が生息できるような支流や周辺の沼地環境を保全 ・環境、文化づくりにも防災面は押さえたい。 ・田んぼを復活 ・2.7haの人工干潟を育てたい！！

項 目	鵜川はこんなところ、こうしたい	未来へ望むこと(目標)案
「流域の環境」に関する意見	<p>河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤岩青巖峡、深い渓谷 ・双珠別ダム、美しい溪流 ・本流、ダムがない川 ・川底が変わった。石・砂利 砂・泥 ・濁りがとれない ・濁りを早くもどしたい ・川底が澄んで見えるような所があって欲しい ・清流日本一でありつづけるよう流域住民が力を合せていく ・川底の砂利をとられないようにする ・大きな河原や支川からの砂礫の流入がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤岩青巖峡や福山渓谷等の美しい景観を保全。 ・清流日本一でありつづける 水質汚濁への迅速な対応、水の濁りの改善 ・多様な生物が生息できる環境を保全・改善 水量の確保、適正な河床材料の回復
	<p>森林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河畔林を増やしたい ・森を守る活動 ・マザーズ・フォレスト ・森を育てる。保水力をつける ・森川海を一体に守る ・森林の荒廃 ・環境にやさしい施業方法 ・山には木がなければ美しく恵みある川にならない ・特定範囲の木を切らない宣言 	<ul style="list-style-type: none"> ・水源の涵養や、生態系を豊かにするための森林の保全と復元
	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンポポ公園、大川の河原がなくなった ・水田の喪失。今から対策を ・穂別川合流点、H18.3 結氷の堆積 ・海は終末処理場ではない。 ・川西・川東頭首工、保水の点で素晴らしい効果 ・環境保全はいろいろな努力の組み合わせ ・「緑なす 森と田園の中 流れ行く 鵜川よいつも 清流であれ」 ・「チドリ、シギ 羽を休めに 集い来る 鵜川の水辺 母なるとく」 ・「アオサギの コロニー幾つ あるという カラマツ林 伐採するなかれ」 ・「航空写真の 鵜川の流れ 美しき とわの流れを 守りゆきたし」 ・「赤や青 巨岩おりなす 青巖峡に すがしき風の 通り過ぎ行く」 ・「初めて見し 鵜川の源流 水清く エゾサンショウウオ すみかとせるか」 	<ul style="list-style-type: none"> ・流木等、再生産の出来る川 ・下トナム地区、H18.8 汚水が鵜川に流出 ・燃料が流出した場合、回収するようにしたい ・頭首工のない川に ・地下水はない ・ムレトイの丘、上げ潮で河口が塞がる ・川は災害も時には起こすが恵みをもたらす ・森川海は一体、森を守る活動

(いままでの会議意見より、「人と川とのつながり」に関する意見)

これまでの意見と目標

項 目	鵜川はこんなところ、こうしたい	未来へ望むこと(目標)案
「人と川とのつながり」に関する意見	<p>歴史、文化、教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 占冠村、仁和地区、切勝沢、パロー沢では渡し舟があった。 ・ 中島地区、流送(あば)が行われていた。 ・ 穂別地区、美しい町づくり ・ 福山地区、化石 ・ アイヌの方は洪水にあわない所に家をたてている ・ キナウス川、キナ=草、ウス(ウス)=生える ・ ルベシベ川、ル=道、ベシ=沿って下る、ベ=川 ・ ハララキ、水鳥を表した伝統の踊り ・ アイヌ語地名の復活 ・ 牛は、河川敷の草を食べているので育ちがいい ・ 子供たちに“貴重”であることを知らせたい ・ 住民の川への意識が高まる何かが欲しい ・ 川遊びから自然との関わりを実感して欲しい ・ 富内地区、クロム鉱 ・ 富内地区、富内発電所 ・ 八幡地区、五重の塔 ・ アイヌ文化を川と共に伝えたい ・ ポロカトマム、大きい湿地 ・ 珍川、汐見 ・ ムレトイの丘、シシャモカムイノミ ・ 伝説を収集する ・ 子供からの提言を取り上げる機会が欲しい ・ 子供たちの感じ方、考え方の元になる経験を ・ 子供たちと川を下るには鵜川は最高の川 	<p>未来へ望むこと(目標)案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川・流域の歴史文化を保存し、継承していく ・ アイヌ文化を伝える、歴史的な事柄を伝える、子供達への教育 ・ 川とのふれあえる機会を多くしたい ・ 子供達が水遊びできる工夫 ・ 上流と下流が互いを知り交流できる仕組みを作る ・ 川をひとつのつながりで見て大きなスケールで景観計画を立てる ・ 鵜川の文化、景観、防災等を整理し地図を作成 ・ 大切と思う場所を共有
	<p>川とのふれあいなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川を身近なものに感じて欲しい ・ 地域と学校と行政で話し合い、理解を深めたい ・ 子供達に川遊びを伝えたい ・ タンポポ公園、昭和30年頃水泳 ・ 旭生橋、水泳 ・ 下トマム地区、溪流釣り ・ ラフティング ・ 穂別地区、Arimori CUP ・ ニニウ地区、サイクリングやテニス ・ 昔の川に戻したい ・ 河川敷を多目的利用したい ・ 川のあるべき姿をイメージできる鵜川であってほしい ・ 子供が遊べるような所があるといい ・ 気軽に川と親しめる場があればよい ・ タンポポ公園、遊び場 ・ 泳げる川に ・ 鉄橋の下、ししゃものひっかけ釣り ・ 穂別地区で水辺ウォッチング ・ 珍川、写生会 ・ 美しい川のPR含め、地域イベントを盛んに ・ 昔の懐かしい川を見た ・ 川遊びは大人も楽しい ・ 外来種でも、タンポポのように利用を考える ・ 本当の安らぎを得られる空間 	